

平成 22 年

愛知県観光レクリエーション利用者統計

平成 22 年 1 月～12 月

産業労働部観光コンベンション課



ま え が き

本県では、観光レクリエーションニーズに対応し、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光振興を適正に促進する上での基礎資料とするために、市町村を通じて、毎年、観光レクリエーション利用者統計調査を実施しております。

本調査は、平成22年の観光レクリエーション利用者統計及び宿泊者統計の結果をとりまとめたものです。

この観光レクリエーション利用者統計は、それぞれの観光レクリエーション資源・施設を訪れた客数の合計人数（人・地点）で表したものでありますので、各地域内での観光レクリエーション活動の発生量の目安として参考にしていただければ幸いです。

なお、調査にあたり多大なご協力をいただきました各市町村、各施設をはじめ関係者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成24年7月

愛知県産業労働部観光コンベンション課

目 次

第1	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査期間	1
3	調査内容	1
4	調査依頼先	1
5	調査対象	1
6	利用上の注意	2
第2	観光レクリエーション利用者統計	4
1	利用者総数の推移	4
2	月別及び季節別利用者数	4
3	施設等区分別利用者数等	5
第3	宿泊者統計	7
1	延べ宿泊者数	7
2	外国人延べ宿泊者数	8
第4	参考資料	9
1	観光レクリエーション利用者統計地域別集計データ	9
(1)	地域別利用者割合及び利用者数の推移	9
(2)	地域の特色	10
2	観光レクリエーション利用者統計利用者数上位観光資源	14
(1)	全体	14
(2)	施設等区分別	15
3	観光レクリエーション利用者統計年別・地域別・施設区分別利用者数・構成比	19
(1)	年別・地域別利用者数	19
(2)	月別・地域別利用者数	19
(3)	地域別・施設等区分別利用者数及び構成比	20
4	観光レクリエーション利用者統計地域別・市町村別集計明細表	21

第 1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光行政を推進する上での基礎資料とすることを目的として実施している。調査方法は、県内全市町村からの報告に基づいた集計である。

2 調査期間

平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日

3 調査内容

(1) 観光レクリエーション利用者統計

ア 観光レクリエーション資源・施設別

イ 月別

ウ 施設等区分別

(2) 宿泊者統計

観光庁の統計より引用（平成 22 年より）

4 調査依頼先

県内 54 市町村（別表 地域区分一覧）

5 調査対象

(1) 観光レクリエーション利用者統計

県内観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）

非日常利用が多いと判断される地点。

観光入込客数が適切に把握できる地点。

前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上である地点。

（平成 22 年より全国共通基準「観光入込客統計」と同様の基準に変更したため、平成 21 年以前のデータとは一概には比較できない。調査対象地点は 718 地点から 642 地点に変更。）

(2) 宿泊者統計

県内宿泊施設における宿泊者数（観光庁の宿泊旅行統計より引用）

6 利用上の注意

(1) 地域区分

地域区分については、別表「地域区分一覧」による。

(2) 施設等区分

平成22年より全国共通基準「観光入込客統計」と同様の区分(自然、歴史・文化、温泉・健康、スポーツ・レクリエーション、都市型観光—買物・食等—、行祭事・イベント、その他)に変更。

(3) 観光レクリエーション利用者統計

観光レクリエーション資源・施設について、市町村より回答のあった数値をもとに作成しており、集計結果は、特に補正を行わない単純合計(人・地点)である。

なお、数値の単位未満は、四捨五入することを原則としており、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

(4) 宿泊者統計

観光庁の統計より引用している数値であり、愛知県が独自に行っていた宿泊者統計は平成21年で廃止した。

地域区分一覧

地域	市町村
①名古屋地域 (1)	名古屋市
②尾張北部地域 (16)	豊山町 北名古屋市 清須市 豊明市 東郷町 日進市 長久手市 瀬戸市 春日井市 尾張旭市 犬山市 小牧市 扶桑町 大口町 江南市 岩倉市
③一宮・尾張西部地域 (9)	一宮市 稲沢市 津島市 あま市 大治町 蟹江町 愛西市 弥富市 飛島村
④知多・衣浦東部地域 (13)	東海市 大府市 知多市 東浦町 阿久比町 常滑市 半田市 武豊町 刈谷市 安城市 知立市 高浜市 碧南市
⑤岡崎・西三河内陸地域 (3)	岡崎市 豊田市 みよし市
⑥新城・設楽地域 (4)	新城市 設楽町 東栄町 豊根村
⑦豊橋・三河湾地域 (8)	美浜町 南知多町 西尾市 幸田町 蒲郡市 田原市 豊橋市 豊川市

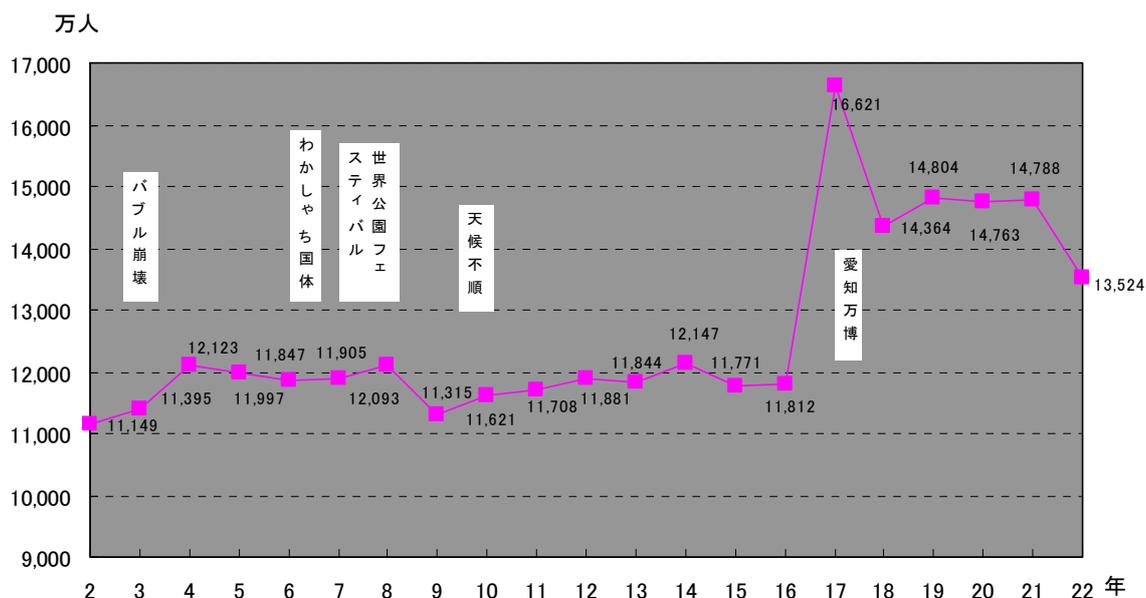
* () は、構成市町村数。

第2 観光レクリエーション利用者統計

1 利用者総数の推移

平成22年の愛知県内における観光レクリエーション資源・施設利用者総数は、1億3,524万0,262人となった。これは、2005年日本国際博覧会（以下「愛知万博」という）が開催された平成17年以降最も低い数値となっているが、今回(平成22年)より、観光庁の全国共通基準「観光入込客統計」と同様の基準としたため、調査対象が718地点から642地点になったことによるものである。

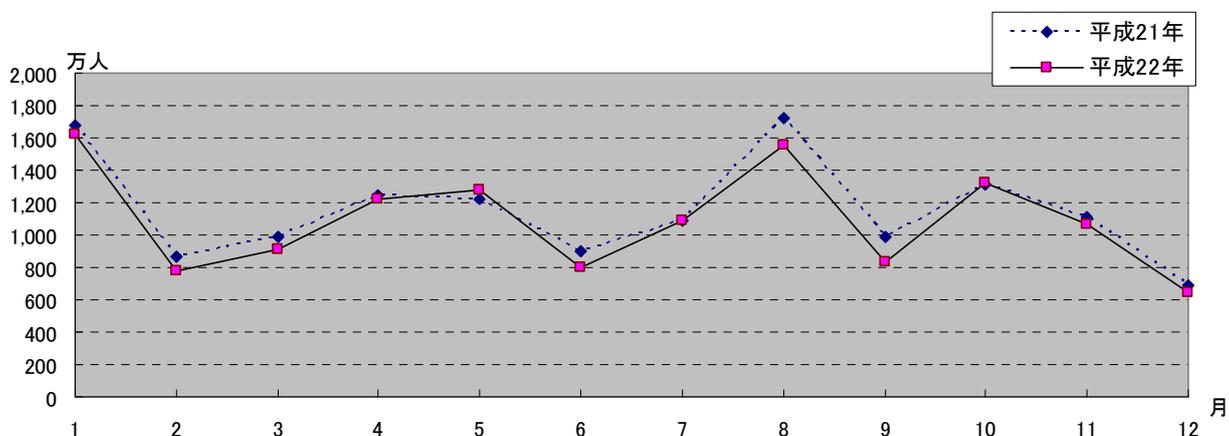
図1-1 利用者総数の推移



2 月別及び季節別利用者数

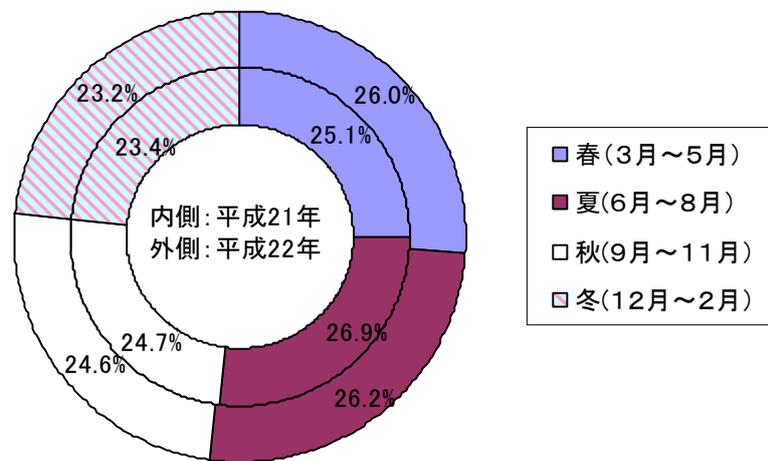
月別の利用者数を見ると、利用者数の傾向は、例年(愛知万博が開催された平成17年を除く。)とほぼ同じく、1月、8月の利用が多く、12月の利用者数が少なくなっている。(図1-2)

図1-2 月別利用者数の推移



季節別に見てみると、季節ごとの差はほとんどなく、例年(愛知万博が開催された平成17年を除く。)とほぼ同じである。(図1-3)

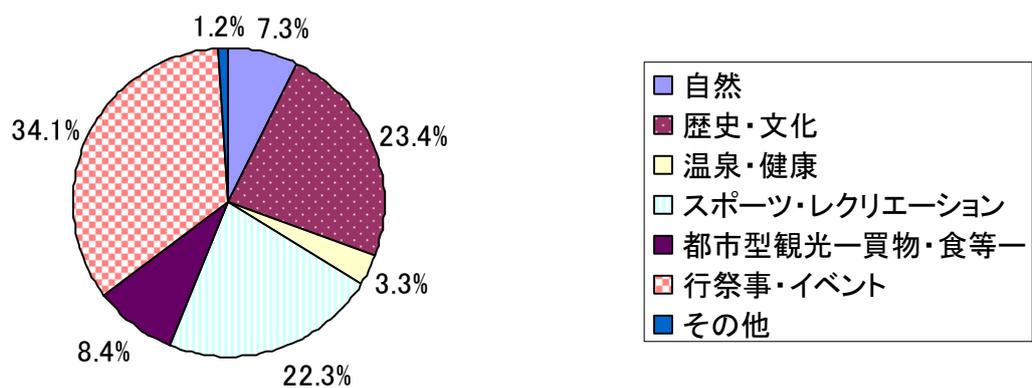
図1-3 季節別利用者の割合



3 施設等区分別利用者数等

市町村から報告のあった642件の観光地点等において、施設等区分別に見ると、「行祭事・イベント」(219件:34.1%)が最も多く、次いで、「歴史・文化」(150件:23.4%)、「スポーツ・レクリエーション」(143件:22.3%)、「都市型観光—買物・食等—」(54件:8.4%)、「自然」(47件:7.3%)の順となっている。(図1-4)

図1-4 施設等区分別件数の割合



利用者数については、「歴史・文化」(34,547,232人：25.5%)が最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション」(27,794,417人：20.6%)、「都市型観光―買物・食等―」(2,740,698人：20.3%)の順となっている。(図1-5)

